## 109 放射線治療システムと放射線治療PACSデータベースの構築と運用

Development and Construction for Radiotherapy PACS Data Base in Sakai Municipal Hospital

## 堺市立堺病院放射線技術科

〇村井康之 (Yasuyuki Murai) 武智加世 (Kayo Takechi) 品部軍次 (Gunji Sinabe)

大原和生 (Kazuo Oohara)

【目的】当院では、新放射線治療システムを構築・運用して1年半を経過し、院内での要望とコンセンサス、放射線治療への理解を更に深めていくための放射線治療画像のデータベースを独自でファイリングし、カルテに添付することが可能となった、院内で試行を行い知見を得たので報告する.

【方法】放射線治療システムとHIS・RIS・PACSのデータを共用した.

使用機器: EXL-15DP/DME (data management equipment for Mitsubishi linac version) (三菱社製)/Power Macintosh 7600 · 120/Epson スキャナGT8500/デジタルカメラPower Shot600 (Canon社製)/プリンターBJC-455 (Canon社製)/FOCUS RTPシステム (兼松メディカル社製)/Dynascan (兼松メディカル社製)/RIS/PACS/HIS/Reportシステム (NEC社製)/CTシミュレーター (島津社製) 使用ソフト: File maker Pro3.0/Photoshop/Osirisなどを使用した.

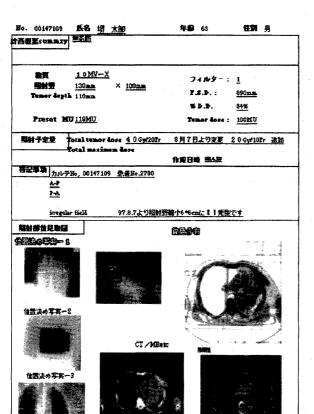
放射線治療計画シミュレーション写真・リニアックグラフィーをコニカデジタイザー(LD4500)でNECのPACSにファイリングし、CT・MR画像等はNECのDICOM3ファイルから切り出し、患者体位記録とMarking記録写真をデジタルカメラから、FOCUSからはオンラインで線量分布図などをセレクトしてPower MACに取り込み後、画像データベースを作製し、記録用紙にプリントし、患者の照射記録とともにカルテに添付し院内で供覧している。

【結果】①治療計画・確認・変更などの必要画像を一元管理したことで照射部位の確認・変更の省力化が計られた.②主治医・依頼医・技師・看護婦・スタッフの放射線治療の現状把握が視覚的にもスムーズに行えるようになった.③患者へのインフ

④ 汎用ソフト・汎用機器の使用により取り扱いがシンプルで安価 に実施できた.

ォームドコンセントにも役立ち、今後の活用が期待されている.

【考察】院内での放射線治療への理解を高めていくために放射線治療計画情報をカルテに添付することを計画し、実現してきた.今後、更に基本的な治療画像データベースとして、院内のイントラネット上に情報提供していく準備を行っていきたい.



市业是会最重新经济企业

